

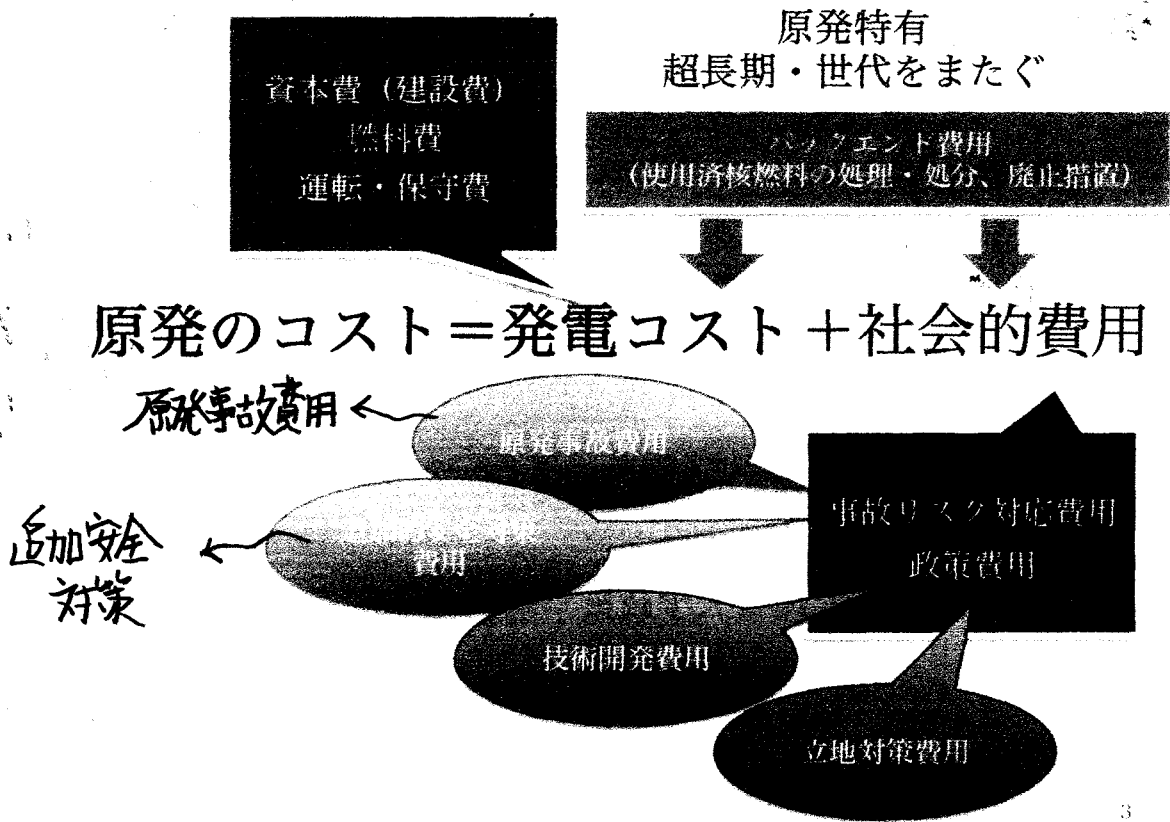
原発事故の費用と負担

2017年4月24日

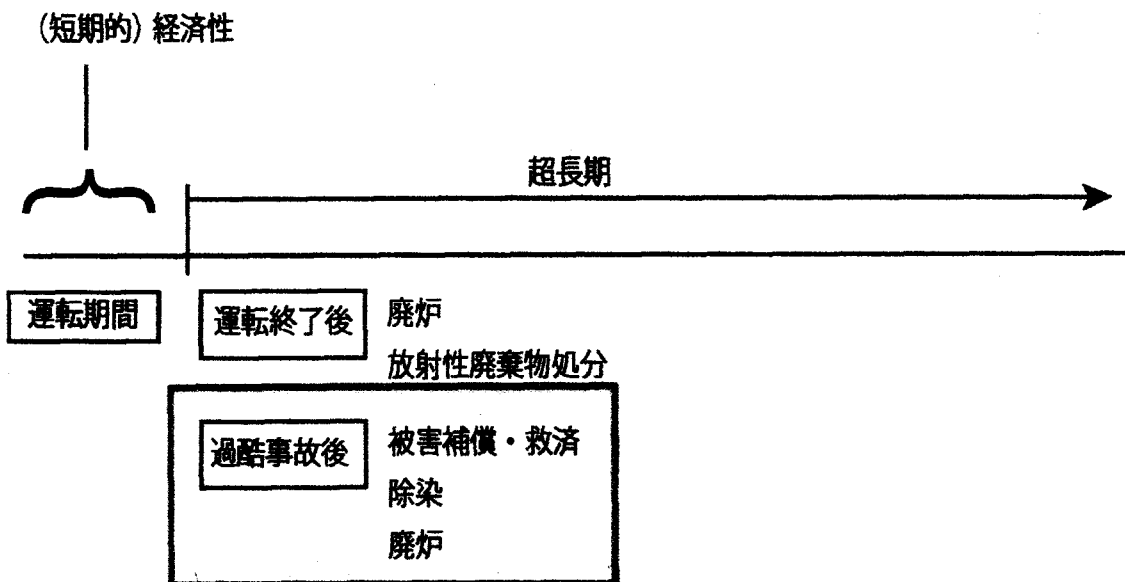
龍谷大学政策学部教授
大島堅一

内容

- 高くなる原発コスト
- 増える原発事故費用
- 増える国民負担
- まとめ～どうすべきか



原発のコストは超長期で不確実



増大する原発コスト

- 原発の発電コスト
 - 建設費の高騰
- 核燃料サイクルコスト
 - 核燃料サイクルを継続することによって、さらに拡大
 - 高速増殖炉→高速炉開発（泥沼）
 - 再処理（泥沼）
- 原発事故コスト
 - 事故後6年を経て、一層拡大。
 - 賠償 → 増大
 - 事故炉処理・廃炉（青天井）

取り出し後テリ処分 } 入っていない
 除染工に最終処分場 }

福島原発事故費用

項目		金額(億円)	将来(不確実)
損害賠償費用	要賠償額(*1)	68,982	→7.9兆円
	賠償対応費用(*2)	777	
原状回復費用(*9)	除染費用等(*3)	42,000	4.0兆円
	中間貯蔵施設(*4)	16,000	1.6兆円
	森林除染(*5)	82	2兆円?
	帰還困難区域の除染	n.a.	増大
事故収束廃止費用	東京電力の対策	21,675	→8兆円以上
	国の対策(*6)	1,195	?
行政による事故対応費用（除染を除く）(*9)		15,264	→増大
合計		164,348	25兆円以上

他にも入っていないものがたくさんある

高くなる原発コスト

- 原発事故コストはこれからも増大する。
 - 不十分な賠償→事情に応じた十分な賠償が必要。
 - 除染廃棄物の最終処分、燃料デブリの処分。
- さらに、このままの政策を続ければ、使用済核燃料の再処理費用を中心に、核燃料サイクル費用も増大する。
- 現時点でも、kW時当たりでみた原発コストは、他の電源と比べて高い。

	発電コスト	政策経費	事故コスト	合計
原子力	8.5	1.7	3.1	13.3
火力	9.9	0.0	-	9.9
水力	3.9	0.0	-	3.9

※1970-2010年度実績

原発事故費用の負担問題

- 原発事故費用の増大
- 電力自由化の下で総括原価方式が撤廃される

→だれが原発事故費用を負担するのか。

【原発事故費用の負担問題】

- 原因者負担が当然

払うべき人、組織が払える、知らぬうちで99%の人々から薄くこすり取りを繰り返す